

大学院案内-博士課程案内-医学専攻-生命科学コース

4. 研究指導教員及び主たる研究内容

[注]

研究指導教員	所属講座等	主たる研究内容	文系	理系
由利 和也	解剖学	神経情報伝達系とステロイドホルモン 脳の性差のメカニズム	○	○
村上 一郎	病理学	腫瘍の病理学（大腸癌、膵癌、造血器腫瘍等） ランゲルハンス細胞組織球症の検討	—	○
降幡 睦夫	病理学	膵腺癌の発生進展機構の分子生物学的及び病理形態学的解析	—	○
山口 正洋	生理学	嗅覚・味覚の認知から行動に至る神経回路機構 大人の脳で生まれる新しい神経細胞	○	○
佐藤 隆幸	生理学	医療機器の開発と事業化支援	—	○
本家 孝一	生化学	糖鎖生物学と脂質生物学 生体膜がつくる微少環境（分子から生き物への変換）	○	○
麻生 悌二郎	遺伝子機能解析学	遺伝子発現（転写～翻訳後修飾）の制御機構の解析 転写伸長因子の生理機能とヒト疾患との関連の解析	○	○
関 安孝	生体分子構造学	αシヌクレイン変異体の構造特性解析 天然変性タンパク質の分子認識機構の解析	—	○
齊藤 源頭	薬理学	血流の下部尿路平滑筋に及ぼす影響 前立腺肥大の発生機序の解明 グリア細胞を中心とした脳機能制御の解明	○	○

大畑 雅典	微生物学	ウイルス感染による発癌メカニズムの解明 皮膚微生物叢(フローラ)の解析と疾患に及ぼす影響について 血液造血器腫瘍をはじめとする種々の腫瘍の病態解明	○	○
宇高 恵子	免疫学	T細胞による自己、非自己認識の研究 腫瘍抗原の認識機構と抗腫瘍免疫療法の開発 NK細胞による子宮内膜の認識機構	○	○
※(坂本修士) ※(津田雅之)	総合研究センター (分子生物学)	非翻訳 RNA の産生変動が引き起こす病態生理現象に関する研究、発生工学的的手法(ノックアウトマウス、トランスジェニックマウス)を用いた発生・再生と免疫細胞における分泌機構に関する研究	—	○
※(是永正敬)	寄生虫学	熱帯寄生虫病(リーシュマニア症など)の分子疫学、腸管寄生線虫に対する感染防御免疫反応に関する研究	○	○
奥谷 文乃	地域看護学	ヒトにおける脳内の感覚情報処理機構 (化学感覚を主体とする)	○	○

[注] ○については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

※()は准教授を表し、主たる研究内容は准教授のものを示しています。